



2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月10日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東
コード番号 7983 URL <https://www.miroku-jp.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）弥勒 美彦
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部本部長 （氏名）宮地 雅久 TEL 088-863-3310
半期報告書提出予定日 2025年6月13日 配当支払開始予定日 2025年7月10日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年10月期中間期	6,306	16.5	113	—	280	181.8	192	646.6
2024年10月期中間期	5,411	△9.2	5	△98.9	99	△84.8	25	△94.1

（注）包括利益 2025年10月期中間期 △93百万円（△126.4％） 2024年10月期中間期 353百万円（△44.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期中間期	65.16	—
2024年10月期中間期	8.73	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年10月期中間期	24,069	13,220	54.9
2024年10月期	22,619	13,320	58.9

（参考）自己資本 2025年10月期中間期 13,220百万円 2024年10月期 13,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	10.00	—	2.00	12.00
2025年10月期	—	5.00			
2025年10月期（予想）			—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	13,260	21.4	100	—	250	—	180	61.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年10月期中間期	3,005,441株	2024年10月期	3,005,441株
2025年10月期中間期	55,754株	2024年10月期	55,634株
2025年10月期中間期	2,949,756株	2024年10月期中間期	2,950,194株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響を受けながらも、政府による各種政策の効果もあり、雇用や所得環境の改善が見られるなど、景気は緩やかに回復しております。一方、米国の関税政策を背景とする先行きの不透明感から、わが国を含め世界経済を下押しする懸念が急速に拡大しています。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適切に表示するため、従来「IT/IoT/AI事業」としていた報告セグメントの名称を「クラウドソリューション事業」に変更しております。

（猟銃事業）

当社製品の最重要顧客であるブローニンググループからの受注は、引き続き堅調に推移しました。昨年生産トラブルのあった主要製品である上下二連銃の販売が回復し、またボルトアクションライフルの新製品の生産も安定しており、売上高は前年同期比で増加しました。利益につきましては、原材料価格の高騰等の影響は継続しておりますが、付加価値の高い製品が好調に推移したことに加えて、前期末の固定資産の減損損失による減価償却費の剥落等により、前年同期比で増加しました。その結果、売上高は5,318,591千円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益（営業利益）は193,596千円（同比505.4%増）となりました。

（工作機械事業）

営業活動の強化により機械部門が前年同期比で増収となりました。一方で、依然として顧客工場の稼働は本格化に至っておらず、他の部門はおおむね低調に推移しました。機械部門の貢献により売上高は前年同期比で増加しましたが、利益につきましては、利益確保の一翼を担っている加工部門の受注が低迷していること等から、前年同期に比べて減少しました。その結果、売上高は1,124,438千円（前年同期比32.8%増）、セグメント利益（営業利益）は73,544千円（同比21.8%減）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高166,259千円を含んでおります。

（クラウドソリューション事業）

設備保全業務効率化のためのクラウドシステム等の販売において、鋭意顧客獲得のための営業活動を進めており、売上高は前年同期に比べて増加となりましたが、利益につきましては引き続き損失を計上いたしました。その結果、売上高は6,567千円（前年同期比266.3%増）、セグメント損失（営業損失）は23,963千円（前年同期は20,666千円の損失）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高591千円を含んでおります。

（その他事業）

その他事業の売上高は23,391千円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益（営業利益）は8,510千円（同比41.6%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は6,306,138千円（前年同期比16.5%増）、営業利益は113,561千円（前年同期は5,897千円の利益）、経常利益は280,137千円（前年同期比181.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は192,206千円（同比646.6%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

資産合計は前連結会計年度末に比べて1,449,909千円増加し、24,069,763千円となりました。

主な要因は、建設仮勘定が1,915,482千円、投資有価証券が354,705千円減少したものの、現金及び預金が313,938千円、建物及び構築物（純額）が3,010,658千円、無形固定資産が188,854千円増加したこと等によるものです。

（負債）

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,549,613千円増加し、10,849,079千円となりました。

主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が300,000千円減少したものの、短期借入金が460,000千円、賞与引当金が86,074千円、長期借入金が1,220,000千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産合計は前連結会計年度末に比べて99,704千円減少し、13,220,683千円となりました。

主な要因は、利益剰余金が186,204千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が276,757千円減少したこと等によるものであります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,299,638	1,613,577
受取手形及び売掛金	2,134,176	2,154,956
棚卸資産	6,482,404	6,311,382
その他	574,303	763,581
貸倒引当金	△39	△59
流動資産合計	10,490,484	10,843,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,241,773	4,252,432
機械装置及び運搬具（純額）	1,003,742	1,044,126
土地	2,538,302	2,538,302
建設仮勘定	2,504,363	588,881
その他（純額）	122,117	247,308
有形固定資産合計	7,410,300	8,671,051
無形固定資産	94,909	283,763
投資その他の資産		
投資有価証券	4,308,756	3,954,051
その他	328,383	330,437
貸倒引当金	△12,980	△12,980
投資その他の資産合計	4,624,160	4,271,509
固定資産合計	12,129,370	13,226,324
資産合計	22,619,854	24,069,763

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,175,421	1,179,664
短期借入金	1,100,000	1,560,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	100,000
未払法人税等	43,946	91,083
賞与引当金	213,431	299,506
役員賞与引当金	6,506	3,075
その他	860,001	987,280
流動負債合計	3,799,307	4,220,610
固定負債		
長期借入金	3,980,000	5,200,000
役員退職慰労引当金	194,594	205,903
退職給付に係る負債	670,092	676,454
その他	655,471	546,111
固定負債合計	5,500,158	6,628,468
負債合計	9,299,465	10,849,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	10,434,275	10,620,480
自己株式	△31,996	△32,133
株主資本合計	11,819,185	12,005,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,454,249	1,177,492
為替換算調整勘定	46,953	37,939
その他の包括利益累計額合計	1,501,202	1,215,431
純資産合計	13,320,388	13,220,683
負債純資産合計	22,619,854	24,069,763

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）
売上高	5,411,976	6,306,138
売上原価	4,791,985	5,559,009
売上総利益	619,990	747,129
販売費及び一般管理費	614,093	633,567
営業利益	5,897	113,561
営業外収益		
受取配当金	24,579	27,584
持分法による投資利益	28,970	103,322
スクラップ売却益	25,892	21,101
その他	19,141	37,939
営業外収益合計	98,583	189,948
営業外費用		
支払利息	2,965	21,611
シンジケートローン手数料	1,136	647
その他	966	1,112
営業外費用合計	5,069	23,372
経常利益	99,412	280,137
特別損失		
固定資産除売却損	1,714	—
特別損失合計	1,714	—
税金等調整前中間純利益	97,698	280,137
法人税等	71,952	87,930
中間純利益	25,745	192,206
親会社株主に帰属する中間純利益	25,745	192,206

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）
中間純利益	25,745	192,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318,431	△330,410
為替換算調整勘定	6,000	△9,014
持分法適用会社に対する持分相当額	3,695	53,652
その他の包括利益合計	328,127	△285,771
中間包括利益	353,872	△93,564
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	353,872	△93,564

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	97,698	280,137
減価償却費	424,639	282,170
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△17	19
受取利息及び受取配当金	△24,580	△27,681
持分法による投資損益（△は益）	△28,970	△103,322
助成金収入	△1,540	△806
支払利息	2,965	21,611
シンジケートローン手数料	1,136	647
固定資産除売却損益（△は増加）	1,714	230
売上債権の増減額（△は増加）	770,834	△20,787
棚卸資産の増減額（△は増加）	△660,002	171,021
仕入債務の増減額（△は減少）	299,509	4,242
賞与引当金の増減額（△は減少）	14,827	86,074
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△19,498	△3,431
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	5,765	6,361
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△23,056	11,309
その他	△163,750	△253,129
小計	697,675	454,669
助成金の受取額	1,540	806
法人税等の支払額	△80,966	△44,025
法人税等の還付額	30,550	63,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	648,800	475,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,779,034	△1,524,982
無形固定資産の取得による支出	△8,483	△49,325
利息及び配当金の受取額	51,865	63,956
保険積立金の解約による収入	—	10,000
その他	△2,449	△1,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,738,102	△1,501,572
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△500,000	460,000
長期借入れによる収入	2,070,000	1,320,000
長期借入金の返済による支出	△300,000	△400,000
リース債務の返済による支出	—	△2,036
配当金の支払額	△75,041	△6,002
利息の支払額	△2,965	△21,887
シンジケートローン手数料の支払額	△863	△861
その他	△189	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,190,940	1,349,075
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,989	△8,992
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	107,627	313,938
現金及び現金同等物の期首残高	1,389,553	1,299,638
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,497,181	1,613,577

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	クラウド ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,551,716	836,013	761	5,388,491	23,484	5,411,976	—	5,411,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,613	1,031	11,644	—	11,644	△11,644	—
計	4,551,716	846,626	1,793	5,400,136	23,484	5,423,621	△11,644	5,411,976
セグメント利益 又は損失（△）	31,978	94,034	△20,666	105,346	14,580	119,926	△114,028	5,897

（注） 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、木材関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△114,028千円には、セグメント間取引消去5,612千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△119,640千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	クラウド ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,318,591	958,178	5,976	6,282,746	23,391	6,306,138	—	6,306,138
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	166,259	591	166,850	—	166,850	△166,850	—
計	5,318,591	1,124,438	6,567	6,449,597	23,391	6,472,988	△166,850	6,306,138
セグメント利益 又は損失（△）	193,596	73,544	△23,963	243,178	8,510	251,689	△138,127	113,561

（注） 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、木材関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△138,127千円には、セグメント間取引消去△10,446千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△127,680千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメント名称の変更）

当中間連結会計期間より、事業内容をより適切に表示するため、従来「IT/IoT/AI事業」としていた報告セグメントの名称を「クラウドソリューション事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に影響はありません。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で記載しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。